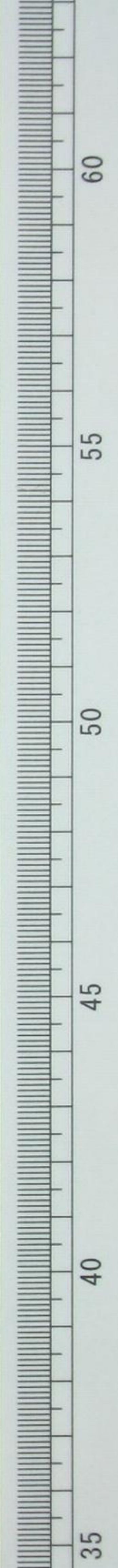


明治卅六年年度圖書館紀要



特別
14
1919
935



明治卅六年及圖書院紀要

目次

- 才一 圖書院建築の事
- 才二 本館建築費の事
- 才三 圖書移轉の事
- 才四 書庫乾燥の事
- 才五 本館開館の事
- 才六 館長と館務整理
- 才七 圖書分類改正の事
- 才八 圖書分類改正實施の事

- カ九 同攻令圖書室分の事
- カ十 カード索引調製並備付の事
- カ十一 和漢書目録印刷の事
- カ十二 早稲田書報と洋書目録所載の事
- カ十三 圖書館規則改正の事
- カ十四 核図帳簿の事
- カ十五 分課沿革并會事務分掌規程
- カ十六 金銭出納事務取扱順序の事
- カ十七 高嶽貞麿托の事
- カ十八 居残勤務規程

- カ十九 図説取締の事
- カ二十 図説票并文附に關する規定
- カ二十一 図説索引附統計の事
- カ二十二 新聞雜誌読心記の事
- カ二十三 地理学標本室 (増加)
- カ二十四 購本并書籍圖書の事
- カ二十五 購本并寄贈圖書の細目
附 分類表 重なる寄贈圖書表
- カ二十六 同攻令圖書分類表 市島圖書分類表
附 分類表
- カ二十七 同攻令圖書分類表
- カ二十八 図説統計の事

九二十七 図書喪失の事
九二十八 寄託書の事

早稲田大學附屬圖書館報告



凡ソ學問進就ノ第一方ハ載籍繙閱ノ功力ニ因ラザルナシ故ニ典冊ノ藏アリテ古今ヲ係セ取り内外ヲ遣サズ以テ師生講讀ノ用ニ供セラルコシ蓋シ學校教堂ニ於テ過現不易ノ大則ト為ス本校創立ノ當初ヨリ圖書室ノ設ケアリテ此ノ需用ニ應エタリト雖比其改メテ大學ノ規模ニ就クニアタリテハ猶經營種々而モ着手第一ニ圖書館ヲ新建シテ最モ意ヲ斯事ニ致シタリ今卅六年度本館諸般ノ報告ヲ為スニ

方り先ツ紀スベキハ館ノ建築事業即チコトナリト

第一圖書館新築ノ事

館ノ設計ハ理学士安岡勝也ノ為ス所ニテ明治三十五年四月 日エヲ起シ同年十月竣成ヲ告ク構造ハ重屋二棟ニ分チ其一ハ書庫ニシテ其二ハ閲覧室ナリ閲覧室ハ木造リニ成リト虽モ書庫ハ磚造古人ノ謂ハユル石室巖屋藏是

也要スル所ノ經費ハ約四萬円即チ大方ニ募カリタル 藤金捐資ヲ以テ此ノ館閣ヲ作り得タルモノトス請フ左ニ書庫閲覧室ヲ各別ニ記述セシ

書庫ハ煉化造ノ三層樓ニシテ其建築ハ十三世紀頃ノフレンチゴシックスタイルニ則リ其裝飾ヲ去リテ專ラ堅牢ヲ旨トセリ面積五十四坪地盤ヨリ蛇腹迄ノ高サハ三丈三尺ナリ中英ノ字キ防火壁ヲ設ケテ各層ヲ二室ニ分チ通行口ハ各防火扉ノ設ケアリ上下合シテ六室トス書庫ニ依

屬シテ読覽室ニ往來スル廊下(間道)ヲ狭ミ煉
 凡造ノ平家建アリ(面積十三坪八合)左右ノ二室一ヲ
 館長室他ヲ事務室ニ充テ廊下及ビ窓ニ防火ノ
 設備アリ書架ハ高サ七尺奥行八寸(長サハ七尺
 五寸六尺五寸五尺ノ三種アリ)ニシテ六段階ニ分テ
 新式ノモノ各室四十座合シテ貳百四十座ヲ排置シ
 得ベク(現ニ百三十六座ヲ備フ)藏書ハ和漢書ヲ合シテ
 優ニ貳拾萬ヲ容ルニ足ル上下ノ各室ニ梯子設
 アリテ所在ノ昇降ニ便シ別ニ三層ヲ串通セル
 書籍昇降器貳ヶ所ニアツテ書籍ノ運搬ニ便シ

閱覽室ハ木造ニ階建ニシテ地盤ヨリ軒桁マデ
 ノ高サ三丈二尺五寸面積百貳拾五坪アリ渡り
 廊下ニ^{ヨリ}梯子設テ書庫ニ通シ又々梯子設二個所ニアリ
 テ樓上^上ノ昇降ニ便セリ梯子段ノ東方(即チ書庫
 ニ對スル方)ニ接シテ二十人乃至三十人ノ閱覽者ヲハル
 ベキ小室各二上下合シテ四室アリテ其二ヲ特別閱
 覽室ニ充テ其一ヲ研究室其一ヲ地理學標本室
 トス廣間ハ其中央ニ出納壇アリ壇ノ左右ニ新聞
 雜誌閱覽席及ビ圖書目錄ノ陳列席アリ凡
 閱覽室ノ机ハ左ノ六種ニシテ總數百四個優ニ

四百五拾人ノ閱覽者ヲ入ルニ足ルベシ室内ニ總
テカマベツトテ敷キテ足音ヲ防遏スルノ注意ヲ為
セリ

閱覽室机寸法及負數

附号	長	幅	高	負數	附号	長	幅	高	負數
イ	八五	三 ^尺 五	二 ^尺 五	二個	二	六 ^尺 五	二 ^尺 〇	二 ^尺 五	一個
ロ	六五	三 ^尺 五	二 ^尺 五	三二	ホ	五 ^尺 五	五 ^尺 五	二 ^尺 五	二〇
ハ	六五	二 ^尺 〇	二 ^尺 五	二四	ハ	一〇 ^尺 五	三 ^尺 五	二 ^尺 五	二

閱覽室ハ目今樓下ノミヲ供用シ樓上ハ教場ニ假
借セラル故ニ出納壇昇降器等ノ備附ハ未ダ成マ

講堂増築落成ノ時ニハ階上モ階下モ同一ノ
廣間ヲ開キテ閱覽ノ席ニ供セラルベシ
左ニ書庫及閱覽室ノ概圖ヲ掲グ

第二章 本館建築費之事

本館建築費ハ別記決算書之通りナリ但シ雜
部事務費ニハ本館ニ關係ナキ費用ヲ多ク包
含スト虽此今ハ之レヲ區別セズ

一計金壹萬四千四百七拾八円〇六錢九厘 書庫

内譯

金三千三百四拾六円四拾壹錢 木材費

金壹千八百拾七圓九拾八錢八重 石材費

金叁千五百七拾壹圓六拾七錢三重 煉瓦費

金八百四拾三圓四拾壹錢三重 地租費

金五百八拾貳圓九拾錢 家根費

金壹百三拾四圓貳拾壹錢九重 遺形足代費

金壹百三拾四圓叁拾叁錢 建具費

金七百拾四圓七拾六錢 壁之費

金七百三拾叁圓八拾壹錢九重 鑄物費

金叁百五拾八圓拾壹錢九重 下小屋費

金壹千貳百三拾九圓七拾八錢四重 上小屋費

金貳百〇貳圓 職工費

金六百七拾九圓三拾錢

一計 金壹萬四千四百貳圓七拾錢六重 院覽室

內譯

金九百九拾四圓七拾叁錢 鑄物及植費

金貳千四貳拾六圓拾壹錢 大工費

金五百拾壹圓六拾三錢叁重 石材費

金七百八圓五拾七錢九重 煉瓦費

金叁百拾叁圓〇叁重 地形費

金四百拾四拾八錢

家根費

金六百拾四四拾壹錢七厘

遺形足代費

金貳百七四八拾貳錢

建具費

金六千九百拾五四貳拾壹錢九厘

木杵費

金壹千叁百貳拾四九拾五錢五厘

硝石壁ペンキ費

一計金壹萬叁千八百叁拾四七拾錢五厘 雜之部

内譯

金壹千。六拾五四拾七錢貳厘

廊下費

金四千七百六拾四七拾八錢

器具費

金九百九拾九四拾壹錢壹厘

土水費

金壹千百拾壹四九拾五錢五厘

修築費

金壹千六百貳拾叁四六拾五錢

増築費

金貳千貳百五拾壹四七拾錢叁厘

豫算外費

金貳千。拾七四拾錢四厘

電燈設置費

一計金貳千五拾八四四拾九錢六厘 事務費

内譯

金壹千六百貳拾叁四拾八錢貳厘

給料手当

金壹百五拾七四八拾七錢叁厘

消耗品費

金 九拾錢

通 信費

金 壹百拾四圓四拾八錢

器 具費

金 貳百壹圓七拾六錢七厘

雜 口

合計金四萬四千八百拾圓。〇四錢六厘

第三 圖書移轉之事

明治卅五年十月一日新館竣成ヲ告ケタルモ書庫
 内ハ漸ク壁ノ中塗ヲヤセシミニテ未ダ上塗ヲ為ス
 ニ至ラザルノミナラズ中塗スル未ダ乾燥ノ暇アラズ
 試ミニ技師ニ圖ルニ畱書ノ濕氣ヲ厭ハシクモ
 半年ノ後ニヲラガレハ圖書ヲ移スヘカラスト而ルニ舊
 圖書室閱覽室ハ急ニ幾許ノ變改ヲ加エテ之ヲ
 學監室講師室等ニ為ス必要アリテ圖書移
 轉ノ事一日モ猶豫スベカラス於是己ムナリ即日
 新館ニ圖書ヲ移スニ決シ先ツ悉智ノ圖書ヲ

新館閲覧室ニ排列シタリ此間日ヲ費ス
三日臨時ニ人支ヲ備フコト十人館員ハ全カヲ奉
ケテ之レニ後ヒリ後十日ヲ閲シ書庫内ニ漸ク書
架ヲ装置シ了リタルヲ以テ十三日ヨリ新架ニ
書籍ヲ排列ヲ始メ十八日ニ至リ大略結了ヲ告
ゲタリ

新館閲覧室之事

才四 書庫内乾燥ニ事

書庫内塗壁の乾燥を待テ圖書を移シ入
ル。結果を果シテ此節の湿度を才冊ニ生
之を改擲シ云々を云々の大換表を
キ起スルニ徴候を以テハシテ之を以テ
乾燥法を講究シテ後遂ニ暖爐ニ一
三個乃至四個の暖爐を備ヒ日出ヨリ日没
ニ至ルニ八十分の湿度を保シ云々
一月日之れを決定シ四壁并ニ
母書冊の湿度漸やく乾燥スルヲを驗シ

月 日 先づ暖爐と撤

早稲田大學圖書部

本館開館

本館ハ廿五年十月廿七日ヲ以テ開館セリ是
レヨリ先キ同月十九日本校ハ東京專門學校
創立滿二十年ヲ祝スルト同時ニ早稲田大學
開校ノ曲ヲ奉ケ本館新設ノ事ヲ普ニテ天
下ニ告白セリ即チ本館開館ノ式ハ開校
ノ曲ト共ニ奉行セラレタル也

第六 館長ト館務整理

早稲田大學圖書部

本館開館ニ先キ(三十五年八月上旬)本校ハ會計監
督市嶋謙吉ヲ按テ圖書館長トシテ圖書事務
ノ整理ニ當ラシメタリ於是新館長ハ先ツ新
館開館ニ至ルマデノ準備案ヲ作り館員ヲ督
勵シテ之ガ設備ニ着手セシメタリ即チ其必
要事項トシテ本報告ニ掲クベキ項目ハ大抵
以內ニ包含セラル

- 一 圖書館規則ノ改正
- 一 圖書分類ノ改正
- 一 同攻會圖書ノ題分

- 一 改正圖書目錄ノ調製
- 一 式紙ノ制定
- 一 印章ノ改造
- 一 機関帳簿ノ新調
- 一 豫算編成
- 一 館員増員并ニ分課
- 一 執務規定ノ制定
- 一 新館事務室須要器具ノ備付
- 一 書庫乾燥ノ事
- 一 古新聞雜誌ノ整理

第七 圖書分類改正之事

新館經營ノ準備トシテ第一ニ考思ヲ勞カセシハ
圖書分類并ニ書籍排列法ノ事ナリ（元來）圖書
館ノ便宜ヨリ云ハハ圖書ノ到着順ニ番號ヲ附シ
之レヲ書架ニ排列スルノ單純ナルニ若クモ（但シカード
ヲ以テ書籍ヲ分類シ閲覧者ノ便宜ヲ圖ルハ勿論
ナリ）然レハ本館ノ如ク學校ニ附屬スルモノニシテ

日々教師若シクハ研究生カ自ラ庫内ニ入り検索
ヲ必要トスル所ニ於テハ所謂「通シ番號」ノ排
列方ハ検索ノ為メ不便ヲ感スルコト少ナラスコ、
ニ於テ本館ハ断然教師検索ノ便宜ニ重キヲ
置キ凡テ圖書ヲ分類シ分類ニ捷テ番號ト架
ヲ異ニスルノ法ヲ採用スルニ決セリ即チ舊分類
ニ若干ノ修正ヲ加フルハ左表ノ如シ

洋書部新旧分類對照表

舊分類

改正分類

I Mathematics	I. Education
J. Chemistry	J. <u>Psychology & Ethics</u>
K. Physics	K. <u>Natural Sciences</u>
L. Biology	4 <u>Mathematics</u>
M. Zoology & Mining	L. <u>Sociology & Social Science</u>
N. <u>Cartography</u>	M. <u>Arts, Crafts & Fine</u>
	N. <u>Religion</u>
O <u>Engineering & Archi.</u>	
- <u>Lectures</u>	O <u>Text-Books</u>
P. <u>Dictionaries</u>	P. <u>Dictionaries and</u>

Reference Books

Q Atlas & Maps Q, Q Statistics

R. Miscellaneous R. Miscellaneous

S. Magazines S. Newspapers & Maps

早稲田大學圖書館

早稲田大學圖書館

和漢書之部

舊分類

伊	呂	波	仁	保	邊	登	知
歷史及傳記	地理紀行及地圖	經書子類	哲學及宗教	法律	政治	經濟產業	統計及年表

新分類

伊	呂	波	仁	保	邊	登	知
歷史及傳記	地理紀行及地圖	宗教	哲學及經學	法律	政治	經濟及財政	統計報告及要覽

利 教育文學及語學

奴 數學

留 博物學

遠 小說

和 雜書

加 字書

與 新聞及雜誌

利 國文學

奴 理學

留 心理、倫理及教育

遠 小說及戲曲

和 支那文學

加 字書及目錄

與 外國文學

多 美術及工藝

連 產業

曾 隨筆及叢書

津 雜 部
新聞 及 雜誌

第八 圖書分類改正實施之事

圖書分類ヲ机上ニ於テ改正スルハ咄嗟ヨリ成スヲ得
ヘ之唯タ其改正ヲ五萬冊以上ノ書籍ニ實施スル
ハ甚タ容易ノ業ニアラス 於是先ツ其實行順序
ヲ案シテ左ノ如ク定メ八月月中旬ヨリ改正ニ着手シ

十月中旬ニ至リ大略其終局ヲ告ケタリ

- 一 従来ノ圖書目録ニ據リ豫シノ部門ノ改正スベキモノヲ定メ之ニ目印ヲ附シ置ク事
- 二 従来ノ目録中改正スベキ圖書ヲ一々點呼シテ書架ヨリ抜き取り一定ノ場所ニ

集ルル事

- 三 新設部門ノ番號ハ前目録中書名點呼ノ順序ニ據ル事

- 四 新設部門ノ圖書ハ點呼順序ニ排列シ傍ラヨリ序ヲ逐フテ番號札ヲ貼付スル事

五 改正番號ヲ貼付スルト同時ニ内部ノ番號ヲ訂正スル事

六 従前ノ部門中改正ノ結果或ル書籍ヲ他ニ移シ番號中断ノ場合生スルトモ之ニ其儘ニナシ置キ他日備付ノ圖書ヲ以テ填補スル事

七 従前二部門以上ニ分類カレタル圖書ニシテ改正ノ結果一部門ニ合併カレタルモノ左ノ順序ニ従フテ番號ノ前後ヲ定ムル事

(甲) 番號ノ前後ハ前部門伊呂波ノ順タル事

(乙) 従前番號ノ活用ニ得ヘキニ可成活用スルノ

方針タル事

第一 同攻會圖書處分ノ事

圖書整理ニ手ヲ下スニ當リ先決問題トシテ解答ヲ要セシ一問題アリ他ニアラス同攻會所屬ノ圖書ヲ如何スベキヤト云フノ問題即チコレナリトス 従来同會ノ圖書ハ特ニ會員ニ限リ閲覧ヲ許シ来リシ處實際事務ノ取扱上之レカ貸出

ニ會員証ヲ發スル等ノ面倒アルノミナラス保管上ニ於テモ帳簿書架符號番號ノ如キニ至ルマテ督テ學校ノ藏書ト異ニセザルヲ得ガル必要アリテ其煩ハシキコト實ニ名狀ノ外ニ在リ去レバ今新館ノ開始ヲ機トシ校ト會トノ圖書ノ區別ヲ没シ且ツ會員ヨリ會費ヲ徴スル制ヲ廢メ學生全体ニ閱覽ヲ許可スルニ單ニ圖書取扱ノ手數ヲ省クノミナラス館ノ効用ヲ均霑スル本旨ニモ適ヒ最モ至當ノ事ナルヲ思ヒ本館ハ一方ニ於テ同攻會委員ニ懇懇スルニ會ノ藏書ヲ奉ケテ學校ニ寄附セシムト

ヲ以テレ一方ニ於テハ帳簿上断然區別ヲ撤シ新定分類法ニ基イテ爰ニ混同ヲ實行シタルニ非ルニ全會十月十七日ヲ以テ果シテ豫期ノ如ク藏書ノ全部即チ
部 冊并ニ在 金 田 錢ヲ奉ケテ本校ニ寄附スルノ決議ヲナスニ至レリ

第十号 カード索引調製并ニ備付之事

舊圖書室於時代ニ於テ「カード」索引ヲ以テ帳簿

目錄ニ易ユルノ必要ヲ感シ「カード」并ニ之レヲ裝置スル函ヲ新調シタリト虽モ未タ之レヲ實用ニ供スルニ至ラザリシガ新館開始第一着ノ事業トシテ先ツ「カード」ノ整頓ニ着手シ和漢書ニ於テハ書名索引ノ「カード」ヲ作り之レヲ件名ニ分類シ洋書ニ於テハ著者名索引「カード」ヲ作り同シク之レヲ件名ニ分類シテ函ニ裝置シ開館ノ日ヨリ之レヲ閱覽室ニ備付ケ以テ今日ニ至シリ

第十一 和漢書目錄印刷之事

「カード」目錄ハ前節ノ如ク一應整備ヲ告ゲタリト虽モ氏閱覽者ヲシテ居テガウ意中ノ圖書ノ在否ヲ知り兼ネテ其ノ符號番號ヲ知ラシメシニハ坐右印刷目錄ノ備ヒ無ルベカラスコト本校ノ講師ニ於テ最モ便宜ヲ感スル所トス蓋シ講師ハ圖書ヲ館外ニ帶出し得ル特權ヲ有シ坐右此ノ目錄ヲ有スルハ自ラ足ヲ勞カセズシテ所望ノ圖書ヲ借覽シ得ルノ便アレバナリ本校ハ由之印刷目錄ヲ作ル

ノ算の望ヲ究シ學監ニ稟議ノ末印刷ノ内貳百
円ハ本館之レヲ支出シ其餘ハ學校ノ補給ニ依ル
コト、シ三十一年九月上旬ヨリ原稿ノ調製ニ着
手シタリ

本目錄ハ上下兩欄ニ分チ上欄ハ分類ニ依ラズ總躰ノ
書籍ヲ書名ニ依ツテ「イロハ」順ニ排列シ附スルニ符
號番號ヲ以テ下欄ハ各分類ノ下ニ書名ヲ「イロハ」
順ニ排列シ符號番號ヲ附スルノ外著者并ニ出版年
月ヲモ添エ上下兩欄ノ一ニ索メテ得カルハ他ノ一ニ就テ
索メシムルノ方法ヲ採レリ

原稿ハ七十餘日ヲ經テ漸ク脱稿セシガ之レヲ印刷
所ニ送テラントスルニ當リ「イロハ」順ニ錯誤アルヲ察見
シ之レヲ校訂スルカ爲メ更ニ數十日ヲ費シ本
年二月ニ至リ初メテ之レヲ印刷所ニ送りタルモ
爾來四閱月校正ニ意外ノ日子ヲ費シ漸ク
三十六年七月ニ至リ竣成ヲ告ゲタリ之レヲ新館
割設以來ノ一事業トオスト云フ

第十二

早稲田学報洋書目録附載之事

早稲田大学図書館

本年一月着手ノ和漢書目録ノ印刷未ダ完成ヲ
着ルニ至ラス而シテ洋書目録ノ印刷又時機
ヲ遷延スベカウザルモノアリ本館ハコレニ於テ
先ツ早稲田学報社ト交渉ヲ開キ毎洋
書目録若干頁ヲ附載スルコトヲ以テ去ル四
月發行ノ分ヨリ之レガ掲載ヲ始メタリ本目
録ハ先ツ書目ヲ分類シ更ニ其ノ著者名ヲ
アルファベット順ニ排列シタルモノニシテ本年末
迄ニハ全部ノ掲載ヲ終リ遂ニ單行本トシテ

出版セシコトヲ期スルモノナリ

第十三

図書館規則改正の事

従来ノ規則并ニ内規ヲ増損シテ新館則ヲ作ルコ
ト左ノ如シ

図書館規則

第一條 早稲田大学附属図書館ハ早稲田大学ノ圖
書ヲ收藏スル所トス

早稲田大学図書館

第一節 館ノ開閉

第二條 本館ハ休日ヲ除ク外左ノ時限ヲ以テ開閉ス

開館 午前八時

閉館 午後八時

但シ毎土曜日ハ午後四時閉館ノ事

第三條 本館定期ノ休日左ノ如シ

歳首(自一月一日至全十日) 大祭日、日曜日

冬夏定期休日

但シ臨時ノ休館ハ其時々之ヲ揭示スベシ

第二節 閱覽人

第四條 本館收藏ノ圖書ハ本校講師職員校

友、學生、校外生ノ閱覽ニ供スル傍廣ク公衆ノ閱

覽ヲ許ス

第五條 本館ノ圖書ヲ閱覽セシトスル者ハ必ス閱

覽票ノ交付ヲ受クベシ

第六條 閱覽票ノ有効期限ハ滿壹ケ年トス

但シ公衆閱覽票ハ一日ヲ限ル事

第七條 學生ニシテ半途退學スル者ハ必ス閱覽

票ヲ返納スベシ其他閱覽ノ資格ヲ喪失セシ

トキ亦同シ

第八條 閲覧票ヲ紛失シタル者ハ速ニ届出テ新票ノ交付ヲ請フベシ

但シ紛失届ヲササハル間ハ之レニ関スル責任ハ依然本人ニ歸スベキモノトス

第九條 閲覧票ヲ分ツテ特別、普通、公衆ノ三種トス

第十條 左ノ諸項ニ該当スル者ハ特別閲覧票ヲ交附ス

- 一 講師
- 二 評議員
- 三 校友

四 早稲田中学教員

五 圖書若シクハ基金寄附者ニシテ本校ニ於テ特ニ優待ノ意ヲ表スベシト評決シタル者

六 研究科生

七 学監ヨリ特ニ允許ヲ與エタル者

第十條 左ノ諸項ニ該当スル者ハ普通閲覧票ヲ交附ス

- 一 学生
- 二 校外生
- 三 学監若シクハ図書館長ヨリ特ニ允許ヲ

與エタル者

第十二條 公衆閲覧票ハ公衆閲覧者ニ對シ若干ノ手数料ヲ徴シテ毎回之レヲ文附ス

第十三條 特別閲覧者ハ書庫内ニ入り圖書ヲ檢索ヲ爲ス事ヲ得

但シ貴重圖書ノ檢索ハ館長ノ認可得、館員之會ノ上ニ非ザレハ之レヲ許サズ

第十四條 特別閲覧者ノ爲メ特別室ヲ設ク

第十五條 圖書ヲ借覽セシトスル者ハ閲覧票ヲ係員ニ示シ定式ノ閲覧証ニ書名番号ヲ姓名等ヲ

詳記シ出納壇ニ出シテ書冊ヲ借受クベシ

但シ檢索ノ特許ヲ有ス者ト虽凡本條ノ手續ヲ經ルニ非ザレハ借用ヲ許サズ

第十六條 閲覧者ノ一時ニ借覽シ得ベキ圖書數ハ左ノ如シ

一 公衆閲覧者 二種十冊以内

二 普通閲覧者 三種十五冊以内

三 特別閲覧者 四種二十冊以内

第十七條 本館外貸出

本館外貸出 館外貸出

館外ニ帶出スルコトヲ得

第六條 教課用参考圖書ノ館外貸出期限ハ
当該学科授業期間中トシ其他ノ館外貸出
期限ハ三週間トス

第七條 冬夏期休業中圖書ノ借度ケテ欲ス
者ハ特ニ館長ノ認可ヲ得ベシ

第十二條 第十七條第十八條第十九條ノ貸出部數
并ニ冊數ハ左ノ制限ヲ超スベカラズ

一 洋書及洋裝書冊

各部六冊

一 和裝書冊

各部十冊

但シ受持課目ノ多キ講師ニ限り館長ノ見込
ヲ以テ特ニ其數ヲ増加スル事アルベシ

第十三條 貸附期間内ト雖トモ本館ノ必要ニ依リ
返納セシムル事アルベシ

但シ一度返納シタル圖書ハサクレ一週間ヲ
経過セザレハ再ヒ貸與セズ

第十四條 新ニ備付タル圖書ハ閲覧室内特設書
架ニ陳列シ若干日間之シテ公示ス

第十五條 前條ノ圖書ハ到着ノ日より三十日ヲ経
過セザレハ館外貸出ヲ許ス

但し講師ノ申出テニ依リ備付タル者ニシテ
其講師ノ請求アリタル時ハ以限ニアラズ

第廿條 備付圖書一部ニ限ルモノハ館長ノ見込ニ
ヨリ館外貸出ヲ謝絶スルコトアルベシ

第廿五條 ^貴重圖書及辭書類ハ一切館外貸出ヲ
許サス亦禁已心圖書ハ特種ノ事由アル者ノ外
閲覧ヲ許サス

但し第ニ項ニ該当スルモノハ其事由ヲ館長ニ
申告スベシ

第廿七條 圖書ハ凡テ室外ニ帶出スルヲ許サス閲覧

者暫時タリトモ室外ニ出ントスルトキハ必ス其都
度返納スベシ

但し館外貸出しノ制規ニ據ル者ハ此限ニ
アラズ

第四節 禁制

第廿七條 閲覧室ニ於テ喫煙音讀談論雜話
等總テ他ノ閲覧者ノ妨害トナルヘキ挙動
ヲ禁ス

第廿八條 借受ノ圖書ハ凡テ轉貸ヲ許サス

第廿九條 圖書ヲ紛失シタル者ハ其損害ノ原品若

シクハ代價ヲ以テ辨償セシムベシ

第廿條 圖書ヲ毀損シタル者ニハ其損害ノ多少ニ
準シ原品ヲ以テ之シテ償ハシメ修繕セシムルコト
アルベシ

但シ時宜ヨリ代金ヲ以テ償ハシムルコトアル
ベシ

第廿一條 本規定ニ違背シタル者ハ其輕重ニ從
ヒテ週間以上拾週間以下ノ範圍内ニ於テ圖
書ノ閱覽ヲ停止スベシ

第廿節 圖書寄贈寄託

第廿條 何人ニテモ本館ニ圖書ヲ寄贈スルトキハ
受領証ト共ニ謝狀ヲ送り其圖書ニハ寄
贈者ノ氏名ヲ録スベシ

第廿一條 本館ハ本校關係者及篤志ノ藏書
家ニ就キ特ニ必要ノ圖書ヲ借受ケ之シテ
備付ル事アルベシ

第廿條 本校職員學生又ハ公衆ノ閱覽ニ供
シ若シクハ保管ヲ請フノ目的ヲ以テ本館圖書
ヲ委託セント欲スル者アルトキハ本館ハ協議
ノ上其需メニ應スルコトアルベシ

第五條 前二條ノ圖書ハ本館所藏ノモノト同
様ノ取扱ヲ為スベシト雖モ一切館外ノ貸出
ヲ許サズ

第六條 圖書借受ケ若シクハ委託ヲ受クルトモ
ハ借用証書若シクハ受托証書ヲ附與スベシ

第五 機關帳簿之事

新館ノ開始ト共ニ舊來ノ帳簿ヲ全廢シ新タニ

帳簿ヲ設定セリ今各課ニ分ツラ之レヲ列挙ス
レハ左ノ如シ

庶務係

- 一 日誌
- 一 發信簿
- 一 受信簿
- 一 寄贈勸誘簿
- 一 謝狀發送簿
- 一 新刊圖書控簿
- 一 館員勤怠簿

管理係

- 一 圖書番號帳 和漢書之部
- 一 圖書番號帳 洋書之部
- 一 購入圖書原簿 和漢書之部
- 一 購入圖書原簿 洋書之部
- 一 寄贈圖書原簿 和漢書之部
- 一 寄贈圖書原簿 洋書之部
- 一 新誌控簿 內國之部
- 一 新誌控簿 外國之部

閱覽係

- 一 和漢書貸出簿
 - 一 洋書貸出簿
 - 一 閱覽票渡簿
 - 一 圖書閱覽統計表
- 主計係
- 一 日記帳
 - 一 仕譯帳
 - 一 元帳
 - 一 元帳殘高帳

一 豫算差引帳

一 圖書注文控簿

一 公 上

洋書之部

和漢書之部

第五 分課沿革并事務分掌分課規程

新館ヲ開クノ初ノ事務ヲ閱覽管理庶務ノ三課ニ分テ各々其主任ヲ定メタリ即チ河野駒三ヲ閱覽主任ニ加藤萬作ヲ管理主任ニ石井藤

五郎ヲ庶務主任トナシ各々其事務ニ當ラシメタリ後敷院月ニシテ實地ノ不便ニ省ミ石井ヲ閱覽主任ニ河野ヲ庶務主任ニ轉シ更ニ徳重富作ヲ主計係トナシ以テ今日ニ至レリ今左ニ三十二年三月定ムル所ノ分課規程并ニ事務負分課表ヲ奉ク

圖書館事務分掌規程

第一條 本館ノ事務ヲ分ツテ左ノ四係トシ各主任書記ヲ置キ各係負ト共ニ事務ヲ分掌セ

シム

圖書閱覽係

圖書管理係

庶務係

主計係

第二條 各主任書記ハ其主管ノ事務ニ就キ館長ニ對シ一切ノ責ニ任ズ

第三條 各主任書記ハ館長ノ決裁ヲ經タル件若シクハ成規アル主管ノ事務ニ付キ他方ト文書ノ往復ヲ為ス事ヲ得

第四條 主任書記ハ其分擔係員ノ増減進退ニ関シ其意見ヲ館長ニ具狀スル事ヲ得

第五條 主任書記ハ毎月五日マテニ其前月ニ於ケル主管事務ノ成績ヲ館長ニ報告スベシ

又実行ヲ要スベキ事務ニ付テハ其主務者議案ヲ起シ各係ニ合議シ館長ノ決裁ヲ得テ施行スベキモノトス

第六條 各係員ニシテ館長ヨリ特ニ指名シテ取扱フ余シタル其人ニ非ラサレハ之ニ從事スルヲ得ス

第七條 各係員分掌事務ノ項目左ノ如シ

圖書閱覽係

第一項 本館所藏之圖書、官報、雜誌、新

聞紙等閱覽者、對之館內、館外貸出、

閱之、凡事

第二項 閱覽室內及閱覽人出入取締、凡事

凡事

第三項 特別普通閱覽票、調製、交付、

閱之、凡事

第四項 閱覽票再渡手續、教科、公衆閱覽

料、徵收及圖書紛失毀損等、係凡辨

償金、係凡調查、凡事

第五項 閱覽日表、月表、年表、調製、凡事

第六項 閱覽室內諸揭示取扱、凡事

第七項 閱覽室投書函、開閉及報告、凡事

第八項 主管、諸帳簿及書類等保管、凡事

第九項 主管事務、成績報告、材料調查、凡事

第十項 主管、係凡諸器具等保管、凡事

圖書管理係

第一項 圖書、官報、雜誌、新聞紙、購入

調查、凡事

第二項 圖書目錄編纂之事

第三項 購入寄贈寄此圖書并官報雜誌

新聞紙ノ整理及分類等ノ事

第四項 圖書番號帳記入ノ事

第五項 書庫內圖書ノ出入及圖書檢索者

監督ニ関スル事

第六項 貴重圖書取締ノ事

第七項 製本又ハ寫字ニ関スル調査ノ事

第八項 圖書寄贈者ニ謝狀又ハ送手續ノ事

第九項 主管ノ諸帳簿及書類等保管ノ事

第十項 主管事務成績報告材料調査ノ事

第十項 主管ニ屬スル諸器具等保管ノ事

庶務係

第一項 本館及館長ノ印章保管ノ事

第二項 館員勤怠調査ニ関スル事

第三項 館員辭令書及履歷ニ関スル事

第四項 本館事務成績報告ノ事

第五項 圖書雜誌新聞紙寄贈勸誘ノ事

事

第六項 購入又ハ寄贈ニ係ル圖書官報雜誌

第六項 購入又ハ寄贈ニ係ル圖書官報雜誌新聞紙ヲ受理シ其主務ノ係員ニ交付ノ事

第七項 他方往復文書ヲ受理シ之ヲ主務ノ係員ニ交付及他方ニ發送ノ事

第八項 他ノ主管ニ屬セザル事務取扱ノ事

主計係

第一項 金錢出納ニ関スル事

第二項 主要帳簿其他諸證書類及主管帳簿保管ノ事

第三項 本館所屬ノ豫算取調ノ事

第四項 公衆閱覽券ノ調製及計算ニ関スル事

第五項 郵便切手備品消品ノ購入及貯藏事

第六項 圖書雜誌官報新聞紙等購入手續取扱ノ事

第七項 製本又ハ寫字ニ関スル取扱ノ事

第八項 不用物品賣却ニ関スル事

圖書閱覽係 主任 石井藤五郎

木村澤猛雄
島興三郎
蔣田覺次郎
小菅新三
外給仕貳名

圖書管理係 主任 加藤萬作

河野昶三

庶務係 主任 河野昶三

主計係 主任 徳重富作

第六 金錢出納事務取扱順序之事

舊圖書室時代ニ在リテ、圖書ニ関スル金錢出納事務ハ、手ケテ本校會計課ニ委シ、圖書室ニ於テハ一冊ノ簿書モ有セザル態ナリシカ、新館開始ト共ニ、毎年收支ノ豫算ヲ定メ、自ラ會計事務カラスルコト、ナレリ、但シ現金ノ取扱ハ、總テ本校會計課ニ委託シ

本館ハ收支ノ傳票ヲ受渡し受渡シテ了スル事トナシ
セリ依テ年月日金錢出納事務取扱順序
ヲ定ムルコト左ノ如シ

早稲田大學圖書部金錢取扱順序

第一條 ^凡金錢ヲ出納スルハ館長ノ決裁ヲ經テ執行スル

モノトス

第二條 金錢出納ニ関スル圖書官報雜誌新聞
紙ノ購入其他物品購入ニ係ル契約ヲ始メ諸給與贈
遺等ノ事項ハ其主管ノ係リ之レガ議案ヲ起
シ先ツ主計係リニ合議シ而シテ館長ノ決裁ヲ得

ベシ然ラザレバ主計係ハ之レニ對スル金錢ノ出納ヲ
拒絶スルヲ得

但シ館長ニ於テ特ニ命令シタルモノ或ハ委任
シタル事項ハ此限りニ非ラズト雖モ其時々主
計係ヘ達示スベシ

第三條 金錢出納ヲ分ツテ決算出納運換出
納做算出入ノ三トス然レモ假算出納ハ止ムラ
得ル場合ニアラザレバ之レガ出納ヲ為サズ故ニ
一旦之レガ出納ヲ執行スルモ速ニ其決算ヲ了スル
モノトス

第四條 現金取扱ニ總テ本校會計課ノ主管ニ屬スルヲ以テ收入ノ金錢ハ其都度主計係ニ廻付スベシ而シテ主計係ハ之レガ傳票ヲ作り館長ノ決裁ヲ經テ會計課ニ回送スルモノトス

第五條 金錢ヲ出納スルニ在リ各項ニ據ル

第一項 館員俸給等ノ如キ既定負數ニシテ正當領收人ノ請求ヲ俟タズシテ支出スルモノハ主計係ニ於テ支出傳票ヲ作り館長ノ決裁ノ式ヲ了レ之レガ支出ヲ會計課ニ請求シ正當領收人ノ領收証ヲ徴シ現金ヲ交付スルモノトス

第二項 館員旅費又ハ市内乗車賃其他出張費等請求スルトキハ其請求書ニ當該主任捺印ノ上之ヲ主計係ニ回附シ主計係ハ前項ノ手續ヲ為スモノトス

第三項 購入圖書及物品代金等ハ受取人ノ請求書ニ當該主任捺印ノ上主計係ニ回附シ主計係ハ規定ノ手續ヲ經テ受取人ヲシテ會計課ヨリ直接領收セシムルモノトス

但購入物品契約ニ屬スルモノニシテ其概算額若シクハ内拂ヲ為ス時當該係ハ其契約書

又ハ膳本ヲ(初回請求
ノ時ニ帳ル)添付スベシ

第四項

代金引換郵便物等ニシテ官廳ニ納付
スヘキ金錢ノ支出ニ付テ、其送書ヲ支出傳
票ニ添付シ規定ノ手續キヲ為スモノトス

第五項

外國ニ送金ノ支出ハ主計係ニ於テ適
宜仕譯書又ハ換算勘定書ヲ作り支出傳
票ニ添付シ手續ヲ了スルモノトス

第六項

外國一時ニ多額ノ支出ヲ要スルハ豫
メ會計課ニ協議ヲ遂ゲ支出傳票ヲ取
ルモノトス

第七條

金錢出納簿記ノ記入ハ總テ館長ノ
捺印アル信憑証據トナスヘキ決議報告若クハ
書類ヲ得テ之ヲ記入スモノトス其記入ノ順序ハ
左ノ各項ニ據ル

第一項

現金及拂ノ如キハ日々ノ出納及残額ヲ
明確ニスルノ必要アレバ主要帳簿ノ記入ハ
毎日之ヲ完了スベキモノトス

第二項

補助簿ノ記入ハ不得止場合ニ於テ五
日以内ニ完了スルモノトス

第三項

帳簿ニ書損アルモ漫リニ削除塗抹ヲ許

早稲田大學圖書館

カス其記入当日未タ其計算ヲ了セザルニ先チ
 察見シタルモノハ必ス書損スル處ノ正中ニ朱ニ
 線ヲ横畫シテ之ヲ消抹シ正字ヲ其上ニ記入スベシ
 數日ノ後金額ノ誤謬ヲ察見シタルハ一旦其
 負教ヲ朱書^記扣除シ更ニ其正教ヲ記入スルモノトス
 第四項 帳簿摘要ノ誤記ニ止ルモノハ朱ニ二線ヲ
 横畫シ之ヲ消抹シテ正字ヲ其上ニ記入スルモノトス
 第七條 收支勘定科目ヲ定ム事左ノ如シ
 ○ 收入之部

款 項 目 節

圖書館收入	圖書資金	公衆寄贈金	公衆閱覽料
		雜收入	圖書辦償金
			閱覽票手数料
			不用品賣却代
			雜入
	得業紀念圖書		

賞 共

豫備費

返 出

但本條科目ノ外人名勘定等ハ其都度適當ノ科目ヲ設クルヲ得

第八條 決定ノ豫算額ハ費途流用ヲ許サス然レ
凡不得止事情アルハ館長ノ認可ニ據リ目節
ノ流用スルヲ得

第九條 金錢收支及運換出納ニ要スル傳票

様式ヲ定ムル左ノ如シ

号		番()	
項 目 節	金額	摘要	學監
			幹事
			會計課長
			會計課御中
			圖書館
合金		關係員	主務
		左記金額	相成度候也
		明治 年 月 日	

早稲田大學圖書館

番()		續 繼 号	
項	目	節	金額
			摘要

第十七 高議負囑托ノ事

圖書之購入ハ各科講師ノ請求ニ待チ館長之ヲ決
 スト雖凡各種専門ノ圖書ノ採否ニ至リテハ専門家
 ノ鑑別ヲ要スルモノ歟ナカラズ本館ハ以テ必要ニ應
 セシカ爲メ三十一年十月本校師中ニ諸氏ニ高議
 負ヲ囑托セリ

- | | | |
|------|-------|-------|
| 中村進午 | 志田鉦太郎 | 鈴木喜三郎 |
| 有賀長雄 | 塩澤昌貞 | 天野為之 |
| 浮田和民 | 坪内雄藏 | 藤井健次郎 |
| 園田正美 | 吉田東伍 | 桑地三九郎 |

早稲田大學圖書館

村上專精

波多野精一

千葉鑛造

第十八 居残勤務規定ノ事

從來晚食時刻迄在館ノ事務員ハ其勤務ト否ト
ヲ論セス無差別ニ并當ヲ支給シ来リシ處如斯ハ單ニ
不經濟ナルノミナラス夜間居残ツテ執務スル者ニ對シ
待遇ノ推衡宜シキヲ得ルモノト云フヲ得ス依テ
年月 日居残勤務規定ヲ設ケ總テ并當料

代リニ并當料ヲ與フルニ改メ午後某時刻迄勤務
シタル者ニ非ガシハ一切并當料ヲ供セス又々休日ノ勤
務ニ特ニ割増辦當料ヲ給スル事ト定メタリ即チ
其ノ規程左ノ如シ

早稻田大學圖書館事務員以下臨時居残執務規程
第一條 本館事務員以下日常勤務時限左ノ通トス
事務員 午前八時出勤 午後五時退出

給仕 午前七時出勤午後六時退出
小使 午前五時半出勤午後六時退出

但土曜日：限り各午後四時退出トス

第二条 事務員ニシテ日常勤務時限外午後
八時迄居残執務シ又ハ閲覧係員ニシテ日
常居残者モ之ノ閲覧閉鎖時限迄勤
務ノ中ハ年当料金八錢ヲ支給ス

第三条 事務員ニシテ本館ノ休暇日ハ臨
時出勤執務ヲ要スル中ハ左記時間ニ依
リ年当料ヲ支給ス

日常出勤時刻ヨリ正午ヲ過ル迄勤
務ノ中ハ金拾錢

全上時刻ヨリ日常退出時刻迄勤
務ノ中ハ金貳拾錢

第四条 給仕小使ニシテ才三条及才三条ノ
勤務ヲ余シタルトキハ其規定ノ半額
ヲ支給スルモノトス

才五条 事務員以下総テ本規定ニ依リ勤務ス
ルトキハ臨時居残勤務ノ簿ニ其勤務ノ
事由及時間等ヲ記載シ館長ノ捺印

ヲ得ヘキモノトス

但本文ノ捺印ナキトキハ主計係ハ大ニ對
スル金錢ノ支出ヲ拒ムヲ得

才六条 本規定ハ明治三十二年五月一日ヨリ施行ス
但施行ノ日ヨリ并古定物支給ヲ廢止ス

才十九 閲覧取替ノ事

圖書貸出手續ハ舊例ニ倣ヒ借用證ヲ閲覧票
ト添之之れを出納壇ニ出ヤシメノ係久其ノ閲覧
票を檢檢シテ後、書冊を貸與シテ其ノ處
昨廿五年十一月ヨリ起ル者之類ノ~~表~~喪失テ了レシもの二三
件相續シ起ルルものも保レ其ノ原因を取調
シテ一々閲覧票の書冊并此名を交還シ
一々他人ノ閲覧票を以テテ圖書を借受け
凡そ借用證と閲覧票と出納壇ニ出メテ借受の
書冊と奪取シテ了ル事一々發見セリシ~~は~~於是爾

後北の不都合を避けるに閱覧室入口の特ニ係員
を置き閱覧者の案内に入るものを先づ入るに於て
其閱覧票を捺し之れを借用紙用紙一枚を
交附す而して退出の場合に捺すを必ず返
却済の消印ある借用紙を去納壇へ受
取り之れを出口の係員に交附し（印）後退出
せしむる事とす如し漸やく竊取
の弊を防ぎしむるに其後尚ほ一二の書冊
を失ひしことあり而して其の原因未だ明瞭
ならずとも或る一旦貸出したる書冊の全

早稲田大學圖書部

部迄却るべき事前、更々他の書籍を貸
出すハ其の原因を尋ねると思ひ、爾後之れよ
く更なる取締を一層厳しく一旦貸出したる
総ての書籍を返却ししむるに及ばざる他の
書籍を貸附せざる事とす之を差して返却未
済の書籍の借用紙を廃止するに因り其
廃止を暫的なるも交附するに於て危險の
事として狡猾の徒或は護謨子を以つて返
却未済の書目を●刪去し其書籍を一切之を
無きを保せしむ也

早稲田大學圖書部

ホ二十 閲覧票再交付に關する規定

本館規則に閲覧票交付に關し特に大体の規定を設くるに止めざるも然るも實際に徴するに閲覧票を紛失するもの毀損するもの故に^樂復舊するにその等相違き係るものなる者替の煩に堪えん^也故に於て若干の手数料を徴し以つて閲覧票を^復舊^取上^取りぬるに當るを定め又取上

票面の文字辨別し難き者^等の請求を待たず進ち^て書換を命ずるの規定を設け三十五年 月^を之^の実施を始め^し、即ち其の^後之^の左^の如^し

閲覧票再交付に關する規定

ホ一 項 圖書閲覧票を紛失したる者ハ^ハ手数料

料^金若干^を納付して再交付を請求すべし

ホ二 項 圖書閲覧票を汚損したる者ハ^ハ直ち

又書換を請求すべし但本館に^ハ枉^を爲^す

と認めし時、直ぐ其の書換を命ずるこ
とあるべし

才三項 亦項者校似者の手数料として金五銭
を納付すべし

才四項 圖書閲覧票をたよる汚損毀壞し
たりを認めし時、本館より書換を
命ずるべし此体念に於ては紛失再渡の
規定に準じ手数料を幾す契を徴
せず

才五項 才二項の但書又ハ才四項の命ずるを
應ぜざる

時之閲覧を停止するものあり

才二十一 閲覧票交付統計とす

本年より於て閲覧票を交付せしもの総計二千八百
五十五人内特別閲覧票を交付せしもの二千九人普
通閲覧票を交付せしもの二千六百四十六人
又本校規則による編輯多る閲覧票を交付する
規程を闡くも事實上編輯多る者存する出入す
るもの頻りあり取締上閲覧票の交付の要

を感しざるを以て二十六年五月冬編輯主任の限
 上特別閲覧票を交付し給ふ又変更票の校々長
 の清本を依り日校最上級のこまきと考ふる(閲覧
 票を交付せしむ)

閲覧票の遺失紛失の届出を以て之を計し
 七冊下附を以てし給ふ左表に載する所あり

閲覧票下附教取消(自昭和二十五年九月
 三十一日)

特別閲覧票	普通閲覧票	計
講師	本校のこまき	
校友	早稲田大学	
九九	二二二四	二二二四
二	二二	二二
一〇二	二八五五	二八五五

閲覧票遺失紛失下附件数表(日上)

遺失紛失	同上再下附	毀汚換替校	計
四四	三二	一九	五一

早稲田大学図書印

才ニ十二 新聞雑誌教正記ノ事

本校存てゝる本の新雑誌を都部を合せて二万種
以下より雑誌を六万種の多々ある上、而して
此の田中進彦刊するもの若くは購本亦経
の中絶せしむるもの甚くは本校を之れ
教正記の第一着なりしと見づ其の保蔵するべき
とすることを決し其の保蔵すべきものをおまの
禁針を施し之れを管部書籍を附し来
る九月迄のカード目録を編修する之れを
従ふる備付べきことをしむるを教正記の

早稲田大学図書印

大要を考へ附する一二の雜件を以てせん

一 外四雜法を従来京都製本を急ぐさ
リしを以て散佚随つて少くし今其の
式と全印を保存す事とせらる即ち総
數^{五十一}十^五行並内迄前より連続して購取し
十二行新編の九行を

一 内四^の新編を我と都下^の志^の刊^の者^の十^八行
大改^の判^の者^の二^行を保存す事とせらる即ち
悉く棄捐す事とせらる併し前叙の新
紙も本校開校あるも連続して購取す

至る概收^の脚^の部^の一^行併し前叙二十行の
現存^の連続^の者^の十^六行^の外^の二^行地方
新^の廿^五行^の者^の一^行

一 新^の紙^を従^来一旦^に脱^説せしめたる故^に保存
す事とせらる破^損は^り損^を来^し往^々堅^要
の^部分^を割^くの^不都^合と^ある^が本^年は
し^しも^特に^保存^用紙^の紙^を干^一行^を
購^取す^るこ^とと^せら^る

一 内^四雜^法の^保存^する^き三^十三^行之^を
今^叙す^る甲^表の^如し^併し^現存^の紙^を購^取す

その………の表の如くを
 総計の四十五行
 の内 購本に依りて二十行 交換二十行
 其内 百の十行也 購本の分八十七
 行 新加五十八行也 而して更に購本二十行 交換十
 行 其の細おるは 購本二十行 交換十
 六行 其の終るは 一十行也
 一 凡そ新着の外國雑誌を若干日間之れを
 講師等に備付以て海河の浪浪に代
 するものとす

早稲田大學圖書會

新聞雑誌(現在)

内國部	外國部	現在		合計
		継続ノ分	新加ノ分	
八七	一二	九	九	二一
九九	六七	六七	六七	一六六
合計				

早稲田大學圖書會

外國之部 舊雜誌 (外國之部) 即今既製本ニシテ庫内書架ニ収メタルモノ

總計 四十一種也 明治三十六年六月調査

内現在ニ繼續 十二種也

右ノ各部門ニ配當スレバ九ノ如シ 表中下列ノ数字ハ 現今繼續ノ分ヲ表ス

文學	經濟	政治	哲學	法律	歷史	地理	教育	統計	合計
七	三	一八	三	二	一	四	一	二	一二
一	一	四	二	一	一				

新雜誌 (外國) 現時継続シツアルモノ

總計 二十一種也 明治三十九年六月調査

内 従来継続分 十二種也

内 新加ノ分 九種也

右ノ各部ニ配當シ購求寄贈ヲ區別スレバ左表ノ如シ

歴史	購求	二	寄贈	〇	購求	三	寄贈	〇
法律	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
哲学	二	〇	一	一	二	一	〇	〇
政治	五	〇	一	一	七	〇	〇	〇
経済	二	〇	一	一	四	〇	〇	〇
合計								

表中教育ニ書物ノ紹介等ヲ含シ
政治ニ時事評論ヲ含ム

内國之部

舊雜誌 (明治三十九年十一月迄ノ分) 調

(甲表)

總計 二百三十三種也

内 現今ニ継続スルモノ 八十七種也

右之部門配當表

表中中列ノ数字ハ現今継続分ヲ表ス

歴史	一一	三	文學	二七	五
宗教	二四	九	理学	八	二
哲学	八	五	教育心理 倫理	三七	一五
法律	二二	一三	美術 工藝	八	三
政治	五八	一七	高貴産業 業交通	二一	一
経済 財政	九	四	總計	二三三	八七

新雜誌

(明治三十二年一月以降)

調

(乙表)

總計

百四十五種

内従来より

八十七種

内新加入

五十八種

右各部門に配當シ寄贈、購求、交換、區別スレバ

部門	寄贈	購求	交換	合計	内 継續	内 新加入
歴史	二	三	一	五	三	二
宗教	五	一	五	一一	九	二
哲学	三	一	二	五	五	一
法律	一一	三	一	一四	一三	一

政治	一四	五	四	二二	一七	六
經濟	六	一	—	七	四	三
文学	一一	四	三	一八	五	一三
理学	九	—	一	一〇	二	八
教育心 理倫理	一九	三	一	二二	一五	八
美術 工藝	六	六	—	一二	三	九
商業產 業交通	一五	二	—	一七	一	六
合計	一〇一	二八	一六	一四五	八七	五八

才二三 地理学標本室

本館閲覧室に梅上東方の特別閲覧室を以て地理学標本室に改題し、其の標本を収蔵し、其の借用し、三十五年十月迄は従来収蔵の標本を爰に移し、一、翌月獨り、注文せし標本到着し、其の更なる此室に収め、其後抽子附陳列其を新調して標本を排列し、書記一人を之に分類并に目録編成の事を擔任せしめし、日漸やく其の整理を完し、至るに廿六年六月、更なる書庫内の地圖を爰に移し、其の分類目

録を作らしめんとし今標本の梗概を左に採挙
附するに表を次にす

(一) 化石の 獨逸ライーン川の畔ボンベーク市よ

り購取の化石五石二十六は之より本邦産を
化石五十八を加へ総數五石八十四ありと
之を四代十二紀に分ち井然地層日ノ順に
從て排列す

(二) 叢石の 化石ト共ニ獨逸より購取せしモノ

三石八十八ありし本邦産を添ふる五十七
を加へて總計一四十五大ニ古代ト之

此世代に至る世界各國の生成岩類と
水成岩類の主要なるものをも総括して漏
らす

(三) 鑛物の 本邦産のあり二十八ありと之

素、硫化物、碳化物、鹵化物、酸塩物及
有機物の六行類に分ち逐一目標を附し
之を是の化石素と同一と目し

早稲田大學圖書印

博物標本員數并代價表

種類	個數	購求地	代價
化石	五八四	内 五八個 日本 五二六 外國	
岩石	五四五	内 百五七 日本 三八八 外國	
礦物	一二八	日本	
結晶模型	六〇	日本	
總計	八二一七		八三三〇 _四 六

備考 右ノ内前年度中購求ノ分ハ岩石及礦物ヲ含シ
貳百二十五種 代價 壹百四十一トス

解九并字表
力三十四
圍寺塔
力三十四
圍寺塔

魚管白大...

魚管白大...

皇清同治元年

皇清同治元年

早稻田大學圖書館

早稻田大學圖書館藏書數
明治三十五年六月
至今三十五年六月

報告

藏書

(現在)

一 洋書

七、七六二部

一〇、一七二部

一 和漢書

一〇、六四三

三〇、七九六

總計

一八、四〇五

四〇、九六八

前年度未現在圖書

一 洋書

六、七一七

八、七〇四

一 和漢書

四、五四二

一三、四三一

早稻田大學圖書館

早稻田大學圖書館

一同政會書 二、一五五
總計 一三、四一四 二六、二五八

本年度於增加七分

一 洋書 一、〇〇八
一 和漢書 三、九八三
總計 四、九九一

一、四二八
一、三二八
一、四七一〇

購求部
購求部寄贈圖書の細目
第二十五

(1) 購求部

	部数	冊数	代價
洋書	四二八	六三六	二、三七六、九〇八
和漢書	二、二七二	九、九六三	二、二九七、三〇〇
計	二、七〇〇	一〇、五九九	四、六七四、二八八

早稻田大學圖書館

早稻田大學圖書館

(四) 寄贈之部

	部数	冊数
洋書	五八〇	七九二
和漢書	一七一	三三一九
合計	二二九一	四一一一

自明治三十五年七月
至三十五年六月
購求洋書分類表

類別	部数	冊数
歴史	一六部	二二冊
法律	一二部	二一七冊
哲学	一	二
政治	一八	二〇
経済	八三	一一四
文學	四九	五四
語學	二四	二四
地理	一	一
教育	五	五

早稻田大學

教育	地理	語学	文学	経籍	政治	哲学	法律	歴史
一四	三〇	一〇三	一五二	五 三	三三	二	二八	七〇 新
一四	三二	一三六	一五六	八一	三三	二	三〇	一九二

自明治辛丑年七月
至壬午年六月
寄贈洋書分類表
明治三十二年三月三十日調査

合計	雜部	統計報告總覽	字書	宗教	美術	社会学	理学	心理倫理
四二八	一	四	二八	一〇	一四	二六	一	三 新
六三六	一	五	九五	一一	一四	二六	一	四 冊

心理倫理	一三	一五
理學	六	一五
社會學	一一	一一
宗教	卅一	一
教科書	三九	四一
宗書	一一	一五
統計報告彙覽	一一	一五
雜書	三	三
合計	五八〇	七九二

早稻田大學

歷史傳記	四一三	卅六
地誌紀行地圖	二五六	九七七
宗教	一二二	三八〇
哲學經學	一三六	五四九
法律	九三	二一四
政治	二一九	五六一
經濟財政	五四	一三六
統計報告彙覽	一四	二四
國文學	一五七	四八〇

自明治三十四年七月
至今三十四年六月

購求和漢書分類表

明治三十四年六月調查

四一三 部

卅六 七 〇 卅

早稻田大學

明治三十九年七月

理学	四部	八部
教育、心理、倫理	九	一六
小説、戯曲	一九八	四六八
支那文字	二五九	一一八三
字書、目錄	五九	四八九
美術、工藝	九三	三三四
産業	二六	四三
隨筆、叢書	一七六	二、四七四
雜部	七	一〇、四一五、七
合計	二、二七二	九、九六五

自明治三十九年七月
至今三十九年六月

寄贈和漢書分類表

明治三十九年六月三十日調査

歴史傳記	一二一	一部	一九〇
地誌紀行	二一四	三四八	
宗教	七七	七七	
哲學、經學	九四	一三五	
法律	三七二	三八二	
政治	六三	七一	
經濟、財政	一四九	一五三	
統計報告要覽	六三	六六	
國文學	八五	一六一	

明治三十九年六月三十日調査

理 学	二七	新	三一
教育心理学	五六		六四
小说戏曲	一二六		一二七
支那文学	五四		一二九
字書目錄	一四		一七
外國文字	一三		一五
美術工藝	二〇		三四
商業産業交通	四七		四九
随筆叢書	一六		五七
雜 部	五一		五六

合計

一七一

三三九

明治三十九年七月末ニ於ケル最終ノ同攻會書分類冊數表 (明治三十九年七月廿四日)

部	部	冊
歴史傳記	二三六部	六七〇冊
地誌紀行	五八	一〇七
經書子類	六	八六
哲學宗教	一二九	一六一
法律	五八四	九三二
政治	二二三	三三四
經濟	二五二	四〇二
統計及年表	六二	九四

教育、文学、语学	二〇〇	五八三
数学	二	三
博物学	三五	六四
小说	九〇	二〇八
雑書	一九七	四九八
字書	六	七
洋書	五九	六七
計	二、一三九	四、一〇六

種類	部数	冊数	寄贈者
洋	三四	四四	辛酉年度得業生
和 <small>(丸本)</small>	一〇五	一〇五	松岡恒太郎
洋	二〇六	二一二	市嶋謙夫
和漢洋	六三	一六二	山上萬次郎
和漢	七六	一五七	森瀨次郎
洋	一	六〇	山岡音吉
洋	一	五六	丸善株式会社
洋 <small>(貴重)</small>	二	六	高田成之次氏紀念寄贈 本校講師

計

四八八

八〇二

早稻田大學圖書館

特別購入和漢書

市嶋舊書分類頁數表 (和漢書之部)

符号	部	門	部數	冊數
伊	歴史	傳記	三七三	一九四八
呂	地誌	紀行地誌	二三五	九四四
波	宗	教	一〇八	二四九
仁	哲学	經学	一三三	五四六
留	心理	倫理	九	七
留	教	育	九	七
利	國	文学	一三四	四四五
利和	支那	文学	二三九	一一八三

早稻田大學圖書館

與	遠	保	邊	登	連	奴	多	曹	知
外國文學	小說 戲曲	法 律	政 治	經 濟 財 政	產 業	理 學	美 術 工 藝	隨 筆 叢 書	統 計 報 告 要 覽
一	一九六	六四	一四五	四六	二六		八三	一四〇	一一
一	四六六	一四七	三四一	一一八	四三		二九二	七九六	二〇

加	津
字書 目錄	雜 部
五十一	一九九 ^八 七
四八四	八〇四 ^七

謝状數月別表

謝状發送、制、明治三十五年十二月一日ヨリ新ニ實施シ

書籍、雜誌(但し引續キ)、寄贈毎ニ發スレモノトス、

初發一ヨリ明治三十五年六月三十日ニ於ケル三百〇七号迄ノ月別表

月次	号数	状数	内 書籍	雜誌	月次	号数	状数	内 書籍	雜誌
三十五年 十一月	自一 至一八	一八	一八	〇	四月	自一 至一六	四七	四六	一
十二月	自一九 至四三	二五	二三	二	五月	自一七 至四七	八二	七六	六
三十六年 一月	自四四 至五三	一〇	八	二	六月	自二四 至三七	六〇	五二	八
二月	自五四 至七八	二五	二三	二	右内一六号、 右外五月中迄 ハカキ謝状(無) セサリキ、 一ニ使用ス				
三月	自七九 至二八	四〇	三九	二					
					計	自一 至三〇七	三〇七	二八四	二二

昭和四年六月一日

早稲田大學圖書印

本表、寄贈書籍、部冊ヲ辨ズルニモナレド、雜誌、如キ冊數、知レザルアリ
且ツ從來ノ記シ方ニ於テ思ヒ茲ニ及ビサレバ隨テ部冊、記入ヲ悉クシテ
部冊ノ表、別ニ調製ス。

明治三十二年一月三十日 記

九二十六

閱覽統計ニシテ

閱覽人負及貸付書教 (明治三十五年分)

- 一 本年度開館日數 一九七
- 一 閱覽人負 一七六四六
- 一 同日平均 八九六〇
- 一 貸付書教 三一二七四
- 一 同日平均 一五八七五

閱覽人負及貸付圖書數

(明治三十六年度)

一 本年度開館日數

一八七

一 閱覽人負

五卷八三卷

一 同 一日平均

二八卷、六九

一 貸付圖書數

七卷、六五七〇

一 同 一日平均

六八七、八八

年月	目標	開館日数	學生貸出冊数	特別貸出冊数	館外貸出冊数	合計冊数	日平均冊数	前日と比較
三拾五年十月		五	一、二一七		一三	一、二三〇	二四六.〇	
十一月		二四	六、二八六	一六	五八	六、三四八	二六四.五〇	一八.五〇
十二月		一六	四、六六三	一〇	五八	四、七三〇	二八八.二〇	九.八〇
三拾五年志月		一七	三、一四〇	一〇	四六	三、一九〇	一八七.六〇	七.五二〇
一月上		二	四、二七九	一七	五一	四、三四七	二七〇.〇〇	八.一四〇
二月上		二	一、二五〇	四七	九四	一、三九一	六二〇.〇〇	四.八〇
三月上		二六	七、五七六	三五	五〇	七、六八一	三〇、一九六	三、一九六
四月上		二一	五、三三六	六〇	五〇	五、四三六	二五九.八六	四二.一〇
五月上		二六	一、一〇三	六六	五四	一、二二三	四三.六五	一七.七九
合計			二、六八〇	一八四	一五四	二、九一八	一〇四.〇〇	三九.七六

早稻田大學圖書館

早稲田大学図書印

三十七年 六月	計	冊	人
二六	二六	七五九五	七六五九
一三四五七三	五二九四	一七一六四	二九四四六
六二二	二二二	五五	二九四四六
一三七六	四二五	二六六	二九四四六
志載六五七〇	五志八三一	一七四八五	二九四四六
六八七、八八	二八志、六九	六七二、五〇	二九四四六
		減	四一、五、五〇
			三七、五〇

九二十七 國書表矢のしり

早稲田大学図書印

自明治廿一年
至今廿六年
喪失尚書一覽表
(參考書之部)

年度	喪失別	洋書	和書	洋書	和書	洋書	和書	洋書	和書	合計
明治卅三年			一							一
今廿二年		二		一						三
今廿三年		三一	四		三					三七
今廿四年		五	四	四	五		一		一〇	一九
今廿五年		一二	四	二	八				一四	二二
今廿六年		二	一		四				三	八
今廿七年		六				五				五
合計										

早稲田大學圖書館

才二十八 寄托書の件事

本校の縁有る人々へ寄托する書は、保夏
一、圖書部系に寄托する氏名左の如し

和漢洋書 教 寄托年月 小川あゆみ

曰 上 坪内推志

和漢書 松平宗四

曰 上 内田知春

右の如しの氏名を講読部にて閲覧せしむる事
定め 年 月 日 其の日付を係員より閲覧
部へ備付し、但し和漢書と教書の

この概ね重複するを以つて洋書目録のみを備付る
他の三氏の圖書を本館に保存するに止るも
他の閲覧は供せず

